



六中だより

学力を保障し、生徒、保護者、地域から信頼される学校づくり

令和4年1月11日

1月号

新座市立第六中学校

『本年もよろしく願い申し上げます』

— あかるく・素直に・粘り強く —

校長 田中 悟

関東地方では穏やかな晴天に恵まれた年明けでありました。

保護者・地域の皆様方におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。新しい年、令和4年を迎え、子どもたちが健やかに成長し、それぞれの良さを発揮し、学習や運動に汗を流しながら、いきいきとした表情で毎日を送れるように願っております。

新年にあたり教職員一同、生徒一人ひとりの健やかな成長を目指し、諸活動に全力を尽くす所存であります。

本年もよろしく願い申し上げます。

「一步一步の前進」

第98回箱根駅伝が5区間107.5km、関東の20校とオープン参加の関東学生連合を加えた21チームが参加して行われ、青山学院大学が5時間22分6秒で2年ぶり5度目の往路優勝を果たしました。青学大や他の大学でも、1、2年生の活躍が目立ったように思いました。昨年往路12位に終わってからの1年間。ひとつひとつの練習を重ね、区間賞はなくとも、全員が区間一桁順位の安定感で走り通しました。5人中3人が箱根駅伝初出場といます。今季、原監督は「タイムトライアルこそが究極の練習」との思いで「絆記録挑戦会」や「MARCH対抗戦」と呼ばれる他大学を含めての大会を新設し、春先からインターバル走のタイムを早めにして選手を育ててきたといます。そのような中で「自己ベスト更新」のモチベーションを保ち続けた選手たち。1万メートルの持ちタイムが28分台でも16人のメンバーから漏れる「史上最強軍団」(原監督)の称号が、テレビ画面からあふれていたように思われました。

華々しい記録の樹立、あるいは大きな大会での活躍等、到達までの道のりは、

結果が出たときに大きく報道されますが、多くの選手たちが、一步一步の前進のために、一人黙々と毎日地道な努力を重ねていることは忘れられがちです。

年の始め、「今年は…」という願いとともに、気持ちを新たにいたします。

子どもたちの願いには「次の自分」に対する夢や希望が入っていることと思います。「こうなりたい…。こうありたい…。」

夢や希望を胸に秘め、自分自身が努力を重ねていく過程。そこに生徒たちの確実な成長が生まれていくと考えます。

さらに「継続は力なり」といいます。夢や目標を立てた後に、少しずつ実行していくこと、そして繰り返し続けていくことで「実践力」も蓄積されていくものと考えられます。

新型コロナウイルス感染予防対策

埼玉県の大野元裕知事は5日の記者会見で、新型コロナウイルスの新たな変異型「オミクロン型」について、「新年を契機に陽性者が増えている。このまま(何もせずに)いけば、第5波の時の(1日当たりの感染者)2千人を超えるのも遠い未来ではない」と述べ、感染力の高さに強い危機感を示しました。

引き続きの感染症対策をお願いいたします

【学校生活における行動のポイント】

- ・日々の健康状態を確認するため、検温・健康観察を徹底すること。
- ・発熱等の風邪症状がみられる場合は出席停止とすること。
- ・マスクの着用及び手洗いを改めて徹底させること。
- ・常時換気を徹底すること。なお、常時換気が難しい場合には、少なくとも30分に1回以上(数分間程度)窓を全開にすること。
- ・登校後に発熱等の風邪症状がみられる場合は、ただちに帰宅させること。